

黒田庄まちづくり協議会より 〈令和2年度事業の取り組み〉 ★重点項目★



第180号5月

1 トヨタ・モビリティ基金の活用

(1) 福祉送迎車運行の充実

NPO法人による福祉送迎車の運行をしました。

(2) 子ども見守り活動の推進

福祉送迎車を青色パトロールカーと兼ねて運行し、見守り活動のシンボルと位置付けました。

(3) 移動販売

地域食材を活用した巻き寿司・弁当・惣菜を移動販売しました。

2 黒田庄駅舎「あつまっ亭」の活性化

(1) 「あつまっ亭」活性化のため、施設改修及び備品の整備を行いました。

(2) 兵庫県立大学生の行動計画の提案を基に、喫茶部分をチャレンジショップとしてスタートしました。

3 子育てグループの支援

(1) 子育てグループが実施する子育て事業に対して支援を行いました。

地域交流部会

1 西脇市・黒田庄夏まつり

「にしわき市・黒田庄夏まつり」は、西脇市民の交流の場と西脇市の活性化を目的として毎年開催していますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度の夏まつりは中止しました。

2 黒っこふれあい広場利活用

旧黒田庄町役場の庁舎跡地の一部が「黒っこふれあい広場」として整備されており、この広場を住民が気軽に集って日常的に活用できるよう、芝生の整備やプランターの植栽管理等を行いました。

年末に開催しています黒田庄軽トラ市については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

くらし安心部会

1 福祉送迎車運行事業

身体状況により、西脇市コミュニティバス「つくしバス」の利用ができない高齢者及び障害者の生活支援のため福祉送迎車の運行を実施し、延べ249人の利用がありました。

2 防犯体制づくり(子ども見守り活動の推進)

子どもたちの事件・事故の未然防止の一助となるよう、現在、黒田庄子ども見守り活動隊に110名の方が登録し、小・中学校の登下校時に見守り活動を実施しました。

また、「子ども見守り隊パトロール中」のマグネットステッカーは軽トラックに貼り付けて集落内を巡回し、福祉送迎車を青色パトロールカーと兼ねて毎週水曜日・金曜日の下校時間に合わせて同乗者とともに楠丘校区・桜丘校区の通学路を巡回し、見守り活動を強化しました。



編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
令和3年5月15日発行



黒田庄地区の人口

(R3.5.1現在)

男 3,159

女 3,363

計 6,522

世帯数 2,660

人口前月比 (-25)

(2)

3 高齢者等の健康づくり(インドヨガ教室)

インドヨガ教室を毎週木曜日の午後7時30分から黒っこプラザ大ホールで開催しました。心身の緊張をほぐし、心の安定と安らぎが得られ、健康と美容に効果があるとして、毎回約15名の方が受講されました。

観光・特産部会、あつまっ亭活性化実行委員会

1 黒田庄駅舎「あつまっ亭」の活性化

西脇市黒田庄交流拠点施設「あつまっ亭」の利用を促進し、拠点のさらなる活性化につなげるため、厨房等施設の改修や備品の更新を行い、12月1日にチャレンジショップをオープンしました。

【火曜日】 村上玉恵さん（墨彩画・水彩画等の展示・販売） 午前9時30分から午後3時30分

【金曜日】 マリーゴールド（ハンドメイド品の販売） 午前10時から午後0時

【土曜日】 黒っ娘おばんざい（巻き寿司等の販売） 午前11時から午後0時30分

2 観光レクリエーションゾーンづくり

12月13日(日)に黒田庄まちづくり協議会委員と黒田庄まちづくり協議会構成団体の野外活動協会とで観光レクリエーションゾーンづくりの一環として、白山・妙見山登山道の門柳ルート・前坂ルートの整備(雑木等刈取り)を行いました。また、12月9日(水)には登山道整備にかかる事前の現場確認及び登山道目印設営を行いました。



門柳ルート



前坂ルート

3 特産品の開発・PR

特産品開発グループ「黒っ娘おばんざい」は、地域の郷土料理や伝統食の製造販売、特産加工品の研究などに取り組み、地域の魅力発信のため、様々なイベントで巻き寿司などを販売し、食で地域の輪をつないで、さらに地域外へも広げていく活動をしています。

毎週水曜日に黒っこプラザ・北はりま旬菜館・北はりま田園空間博物館で巻き寿司・弁当など、毎週土曜日に「あつまっ亭」のチャレンジショップで巻き寿司など、毎週日曜日に北はりま田園空間博物館・茜が丘複合施設「みらいえ」で巻き寿司などを販売しました。また、老人クラブなどの団体からのお弁当の注文も増えてきました。

広報部会

1 「黒田庄つうしん」の発行

地域住民に情報の発信をするため、毎月15日に「黒田庄つうしん」を発行し、全戸配布及び市内公共施設等に配布をしました。

発行までの流れとしては、原稿の提出依頼、取材、作成、校正及び印刷を行い、毎月2,500部を発行しました。

2 黒田庄の情報発信

黒田庄のイベントや観光などの情報を広く発信するため、SNSを活用して情報発信に努めました。



虹の会工房 就労継続支援B型&生活介護&グループホーム

虹の会工房就労継続支援B型では、「農福連携インターンシップ事業」に令和2年度から参加しています。

これは、県が特定非営利活動法人兵庫セルフセンターに委託して、農業分野における障がい者の就労訓練のために障がい者を受け入れようとする農業者等に対し予算の範囲内において、受け入れに必要な経費の一部を補助することにより障がい者の農業分野における就業機会の拡大を図ることを目的とする事業です。

今回は、多可町中区の株式会社AgLiBrightさんに紹介頂き、仕事を受託することが出来ました。

これからは農場での作業また加工品の下準備を手伝うこととなります。同時に施設でも特産品を生み出すために、町内に50坪の畑を借用して利用者さんと取り掛かっています。

(文責:伏原)



【農場での作業風景】

利用者さん

毎回、真剣に取り組んでおられます。



<黒田庄こども園ニュース>

<感染症とこどもの日>

ゴールデンウィーク前に、緊急事態宣言が発令されました。

せっかく親子で楽しめる休みが、ステイホームとなり、フラストレーションが溜まる休みとなってしまいました。

しかし、変異株も急増し、医療の逼迫等、みんなで自粛すべきところは、本気でかからないといけませんね。

子どもたちが楽しみにしていた「こどもの日」は、如何お過ごしでしたか?こども園では、この時期に、特別養護老人ホームのおじいさんやおばあさんと交流したり、こいのぼり集会をしたり…。楽しい集いを実施するのですが…。

今年は、一昨年来園いただいた『柏餅保存会』のお姉さん(実は、園の先生たち。)に来ていただいて、楽しい柏餅づくりの実演。みんな役者です。

子どもたちは、こいのぼりの歌やダンス、最後にはミニミニミニかけっこをして楽しみました。

大変な時期ではありますが、子どもたちの笑顔がいつぱいの楽しい一時となりました。給食は、こいのぼりの旗がたった「チキンライス」と大好きな「から揚げ」です。園庭のこいのぼりに給食室前のこどもの日の飾りなど、少し遅くなりましたが「こどもの日」の集会をみんなで楽しみました。

コロナ禍の中ではありますが、子どもたちには健やかに育ってほしいものです!!



<こどもの日の集い>



<楽しい給食メニュー>

★一人ひとりができる新型コロナウイルス感染症予防対策は？★

■新型コロナウイルスに感染しないようにするために

感染経路の中心は飛沫感染及び接触感染です。人と人の距離をとること(Social distancing; 社会的距離)、外出時はマスクを着用する、家の中でも咳エチケットを心がける、さらに家やオフィスの換気を十分にする、十分な睡眠などで自己の健康管理をしっかりする等で、自己のみならず、他人への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底することが必要です。

また、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の一定の環境下であれば、咳やくしゃみ等の症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。無症状の者からの感染の可能性も指摘されており、油断は禁物です。

これらの状況を踏まえ、「3つの密(密閉・密集・密接)」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒や咳エチケットの励行などをお願いします。

(厚生労働省HP参照)

他の人と十分な距離を取る!
2メートル

窓やドアを開けこまめに換気を!

屋外でも密集するような運動は避けましょう!
少人数の散歩やジョギングなどは大丈夫

飲食店でも距離を取りましょう!
・多人数での会食は避ける
・隣と一つ飛ばしに座る
・互い違いに座る

会話をするときはマスクをつけましょう!
5分間の会話は1回の咳と同じ

何もせずに咳やくしゃみをする
咳やくしゃみを手でおさえる

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まるところでやろう
マスクがない時
とっこの時
マスクを着用する(口・鼻を覆う)
ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用
1 鼻と口の両方を確実に覆う
2 ゴムひもを耳にかけ
3 隙間がないよう鼻まで覆う

編集後記

大相撲夏場所が両国国技館で開催されています。新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言により、5月9日(初日)から11日(3日目)まで無観客で行われ、緊急事態宣言の期間延長の12日(4日目)からは観客の規模縮小により行われています。テレビ観戦をしている我々にとっては、無観客より規模縮小でも観客が入る方が、見応えがあって良いのではないのでしょうか。

一刻も早く新型コロナウイルス感染症が収束することを切に願うものです。

Y. I